

広報 ふじかわ

4月号

昭和51年4月20日発行

No. 182

町のメモ

昭和51年3月1日現在	
人口	16,553人
増減	+ 21人
男	8,192人
女	8,361人
世帯数	3,963世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画課



家庭料理の本質を求めて1年

成果を胸に保健栄養教室が閉講

「いかにしたら安くても栄養のある、おいしい料理が家庭でつくれるか」をテーマに保健栄養教室は昨年の4月開講以来、一年間勉強してきました。その成果をたしかめる最後の教室が3月4日、老人福祉センターで開かれました。

当日は「私たちの夕食のために」という調理献立のテーマのもとに、学習生三十六人が六グループに分かれて、一人分三百円くらいの材料費をつかい、あらかじめ、それぞれの家庭でつくった料理を持ち寄り、各テーブルに盛りつけた。各テーブルには、色々趣向をこらした、おいしそうな料理が並べられ、学習生全員で批評し合いました。清水保健所の織田典子栄養士も出席「とてもよくできています。この手腕を日常生活に生かしてください」と話していました。

この後、風食がわりに試食して、中川町長や宮石教育長から「一年間よくがんばりました」と修了証書がそれぞれの学習生に手渡されました。

きれいな町づくりに 11億4,030万円

51年度一般会計予算3月定例議会

限られた財源の中で

福祉衛生面に重点を

町議会3月定例会は、3月10日から3月17日までの間、役場議場で開かれ、51年度の町政の方針や事業の内容。あるいは、これに伴う予算、条例の改正など十二件の議案が審議され、原案どおり可決されました。

51年度の一般会計予算は、十一億四千三百万円で前年より三千八百七十万円の増額になっています。また、特別会計予算は、国民健康保険会計に二億百万円、水道事業会計に九千二百六十万円、土地取得会計に千五百五十万円の予算を計上しています。

一般会計と特別会計を合わせると十四億四千九百四十万円となり、前年度当初予算より三、二割の伸び率にとどまっています。

48年度の石油ショックを契機に、総需要抑制を中心とした諸施策により、物価も落ち着き、安定成長への足がかりをつかんできましたが、景気の回復は遅れているのが現状です。

このため国では、景気の回復と雇用安定を図ることを緊急の課題とした予算方針を打出しています。

庵原三町の精薄児

通園施設を建設

▼七十歳以上の老人八百七十人に対して、医療費を全額扶助します。扶助費は、前年より二十三割アップしています。二八九七万円

▼身体が自由がきかない老人に、風間、付き添っていられる人がいます。

▼老人の健康診査委託料六〇万円
▼町内に二十八の老人クラブがあります。この活動費に一四二万円
▼社会福祉会庵原福祉会事業として精神薄弱児通園施設を浦原病院東側に建設します。

▼国民健康保険への繰出金に 二五〇万円
▼国民健康保険への繰出金に 八〇〇万円

▼仕事を持っているお母さんが安心して、子どもをあずけて働けるため、常備消防など消防費に 三〇〇万円

▼土木の改修など河川費に 四二六万円
▼商工会に対する補助金を増額しました。また、中小企業の資金供給のため信用保証協会へ出捐金を出すなど、商工費に 五二七万円

▼町民の貴重な財産を火災から守るため、常備消防など消防費に 三〇〇万円

▼土沢の改修など河川費に 四二六万円

▼約四億円かけて建設されている三町し尿処理場は、工事も順調に進み、今年の10月に完成します。この増改築費に 四四六五万円

▼三町し尿処理場 10月に完成予定

▼交通安全施設や安全教育を推進して、交通事故を防止するために 四七五万円

▼庵原地区救急医療対策協議会の負担金を町で予算化しました。 六〇〇万円

▼結核、ガンなどの成人病集団検診を充実するため、予防費に 五七五万円

▼共立浦原病院を運営するための負担金として 二〇七五万円

▼ごみ収集の人員増やごみ収集車の更新をはかる。また、収集回数も現状より充実して、町内の環境の向上にあたります三〇七三万円

▼約四億円かけて建設されている三町し尿処理場は、工事も順調に進み、今年の10月に完成します。この増改築費に 四四六五万円

▼三町し尿処理場 10月に完成予定

▼交通安全施設や安全教育を推進して、交通事故を防止するために 四七五万円

▼庵原地区救急医療対策協議会の負担金を町で予算化しました。 六〇〇万円

▼結核、ガンなどの成人病集団検診を充実するため、予防費に 五七五万円

▼共立浦原病院を運営するための負担金として 二〇七五万円

▼ごみ収集の人員増やごみ収集車の更新をはかる。また、収集回数も現状より充実して、町内の環境の向上にあたります三〇七三万円

▼公害対策では、大気汚染、および水質汚濁の監視体制の強化の中で、大気汚染測定機を購入して、富士地区亜硫酸ガス規制処置に対処します。 五九九万円
▼45年度から、総工費約一億二千万円かけて実施していた都市下水道工事は、今年の3月に完成しました。

▼今年も基幹農道である豊免農道を開設して行きます。この道路を含めた農地費に 三六六五万円
▼蒲原町まで通じる吉津金丸線の林道開設工事など、林業振興費に 七三三万円

▼水菜試作の委託料、静岡庵畑地総合整備常費補助など農業振興費に 六五二万円
▼松永中沢線、原地線、小池区画整理内道路などの改良舗装に 四二七万円

▼今年も基幹農道である豊免農道を開設して行きます。この道路を含めた農地費に 三六六五万円
▼蒲原町まで通じる吉津金丸線の林道開設工事など、林業振興費に 七三三万円

▼水菜試作の委託料、静岡庵畑地総合整備常費補助など農業振興費に 六五二万円
▼松永中沢線、原地線、小池区画整理内道路などの改良舗装に 四二七万円

一小校舎を増築

二中体育館も新築

▼児童増による第一小学校不足教室を解消するため、現在の三階建て校舎を四階建てにして、普通教室を六教室増築します。 一一七二万円

▼保護児童生徒などの扶助費として 四二七万円

▼今年も基幹農道である豊免農道を開設して行きます。この道路を含めた農地費に 三六六五万円

▼都市計画街路幹線形富士川線を今年も開設します。 九六九万円

▼富士川町史の追補第二号を発刊します。 三五〇万円

▼第一中学校にプール建設を計画しているため、今年度は、その用地の購入費として 三五〇八万円

▼第一中学校グラウンドにスプリングライを設置します。また、理科室のガス配管工事などの予算に 二六六万円

▼第二中学校の校舎新築に続いて今年度は体育館を建設します。 四四八二万円

▼木島、小山地区から通学している遠距離児童生徒に通学費を支給しています。また、要保護、標準

▼任期满了に伴ない、7月に行なわれる予定の町長選。また、衆議院選などの選挙費に 五七二万円

▼第二中学校の校舎新築に続いて今年度は体育館を建設します。 四四八二万円

▼木島、小山地区から通学している遠距離児童生徒に通学費を支給しています。また、要保護、標準

▼任期满了に伴ない、7月に行なわれる予定の町長選。また、衆議院選などの選挙費に 五七二万円

▼任期满了に伴ない、7月に行なわれる予定の町長選。また、衆議院選などの選挙費に 五七二万円

▼任期满了に伴ない、7月に行なわれる予定の町長選。また、衆議院選などの選挙費に 五七二万円

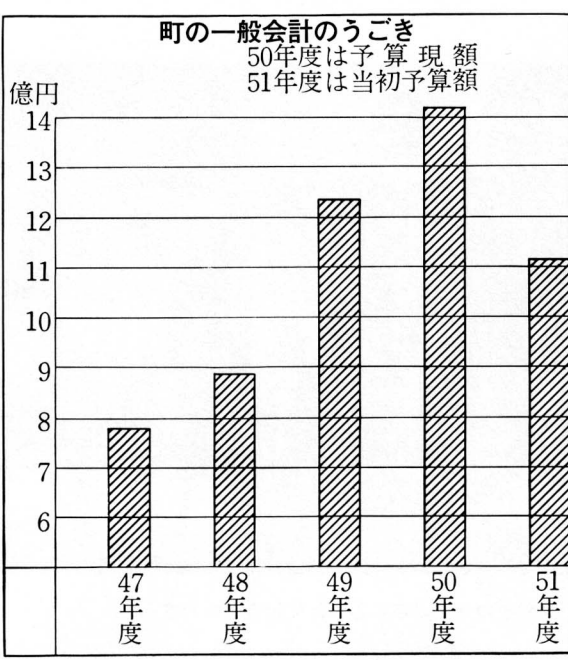
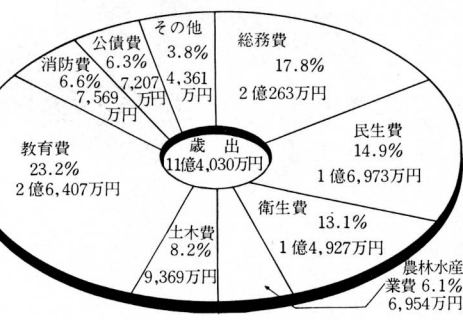
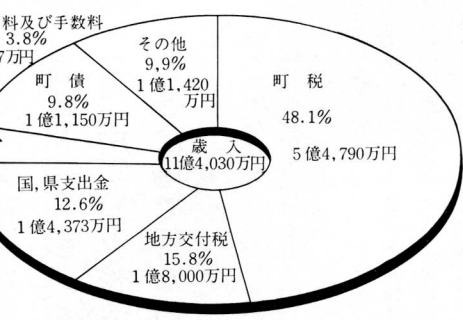
▼第二中学校の校舎新築に続いて今年度は体育館を建設します。 四四八二万円

▼木島、小山地区から通学している遠距離児童生徒に通学費を支給しています。また、要保護、標準

▼任期满了に伴ない、7月に行なわれる予定の町長選。また、衆議院選などの選挙費に 五七二万円

▼任期满了に伴ない、7月に行なわれる予定の町長選。また、衆議院選などの選挙費に 五七二万円

▼任期满了に伴ない、7月に行なわれる予定の町長選。また、衆議院選などの選挙費に 五七二万円



町制施行75周年記念式

— 合併20周年記念 —

4月4日(日) 第一小体育館

併せて都市下水路
富士川河川敷スポーツ広場
第二中学校々舎改築竣工式
も各会場で行なわれる

明治三十四年四月に富士川村から富士川町に町制がひかれてから今年でちょうど七十五年(合併二十年)にあたり、町はこれを記念して四月四日(日)第一小学校体育館で記念式典を、都市下水路、富士川河川敷スポーツ広場、第二中学校々舎改築竣工式を各会場で盛大に行ないました。

又記念式典の会場におきましては、関係者約四百名が出席され町の発展を祝い、今年の町の目標である「きれいな町にしましょう」を全員で誓いあいました。

記念式典の席上、表彰条例により、功労者、善行者表彰、及び新たに設けられました顕功章の表彰が行なわれ、顕功章には、佐藤虎次郎(現清水市長)、丸山彦之助(元町議会議員)、池谷孝太郎(元富士川町長)の三名が受彰されました。

尚、主な表彰者は、(敬称略)
▼自治功労Ⅱ二又川海造、小野日央、望月計夫、平田広胤。▼教育文化功労Ⅱ大嶽正教。▼産業経済功労Ⅲ斎藤久男。▼社会福祉功労Ⅲ深沢玄誠、斎藤みち、土井せつ子。▼治安維持功労Ⅱ久保田敏男、佐野安彦。▼多額寄付者Ⅱイハラケミカル工業㈱、川商不動産㈱、野田力三、斎藤妙子、金指恭三、池谷己代。▼善行者Ⅱ平野ゆう。▼感謝状Ⅱ芦沢美之作ほか九十二名。▼私の意見募集入選者Ⅱ望月一郎ほか八名(この内には、第一中学校の生徒の作品が五人入選されています)。

第二中学校々舎が落成

老朽校舎ともおわかれ

昭和五十年七月二十八日に着工された、第二中学校の校舎が完成しました。

昭和二十四年に建築されて、数

多くの思い出を残した校舎も取りこわされ、新しい近代的な建物となりました。

新入生はもちろん、二年生、三



記念式典の席上で表彰された受彰者のみなさん

年生の皆さんが、この学び舎でのびのびと勉強できることになったわけです。

総事業費は二億九八八万円、鉄筋コンクリート造り四階建て、普通教室六、音楽教室、理科室など特別教室六、そのほか校長室、職員室、事務室、医務室、職員更衣室、管理人室等が配備されています。

このスポーツ広場は、みんなの広場ですので、常に良好な状態で楽しく利用できるよう、ルールを守って使用してください。

使用許可申請や使用規則など詳しいことを知りたいかたは、教育委員会社会教育課へ問合せてください。

富士川河川敷に 待望のスポーツ広場が

町内のかたなら

どなたでも使用できます

町民の皆さんが待ち望んでいたスポーツ広場ができ、四月五日から一般に利用されるようになりました。

町民のより広いスポーツ熱を高め、健康と体力向上を目的としてつくられた、このスポーツ広場は、町内に住んでいるかた、または、町内の事業所に働いているかたで責任者の明確な、おおよね十人以上のグループなら、どなたでも使用できます。

スポーツ広場は、富士川河川敷の岳南工業用水送水管橋と新幹線鉄橋の間の三万平方メートルを造成し、軟式野球二面、ソフトボール四面、サッカーなら二面のコートで同時にできる広さです。このほか陸上競技用にも四百メートルコースが使えます。

施設には、軟式野球用バックネット

ット二張り、サッカーゴール二式(少年用と一般用各一式)、移动式トイレ、ベンチが設置されていますが、水道施設や倉庫、駐車場は、建設省の許可条件があつて規制されているので設置されていません。尚水道施設については、今後設置できるよう関係方面に陳情しています。

使いたい人は
「使用認可届」を

この河川敷スポーツ広場を使用したい人は、使用許可書を教育委員会に提出して、許可を受けなければ借用できませんので、次の使用規則にしたがって申込みください。なお、使用料は無料です。

■申込手続 教育委員会社会教育課(老人福祉センター内)にある申込み用紙に記入して、直接

同課へ提出してください。電話での申込みは受付けません。

■申込期日 使用を予定する前月の1日から10日までの間(10日が日曜、祝祭日の場合は11日)に申込みください。

■開場時間 (夏期) 4月1日～10月31日(午前8時～午後6時30分)。(冬期) 11月1日～3月31日(午前8時～午後5時)。

申込み者が多く利用日が重なった場合は、当方で調整しますが、調整が困難な場合は抽選で決定します。

町内全域を対象に開催する行事については、あらかじめ予定日を先取りする場合があります。

提防からスポーツ広場までの間に、ダンプ専用道がありますので指定された横断歩道を交通事故のないように、よく注意して横断してください。

また、使用後の整地、清掃など規則に違反した者には、使用を許可しなかったり、取り消す場合があります。

地域住民の生活不安

解消される

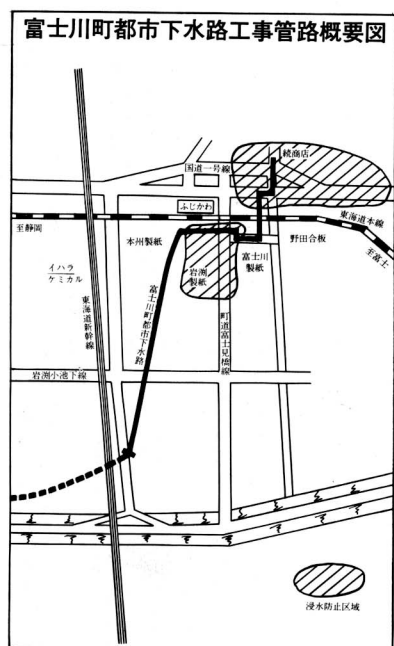
— 都市下水路竣工 —

庵原広域都市計画下水道事業の一環事業である、都市下水路が竣工しました。

中之郷字新町下及び、堺町下の一部は地形的な原因から、排水の便が悪く、大雨の都度冠水の被害を蒙り、地域住民の生活は、おびやかされてまいりましたが、町の基幹事業の一環として、県ならび

に建設省の指導のもとに、都市計画事業として、計画の策定を、すすめてまいり、昭和四十五年度に着手されてから、六ヶ年で総費用一億一四六五万円をかけ、延長一〇〇米ができあがりました。

これによって地域住民の浸水などによる、生活不安が解消されたわけです。



大きな一年生が卒業

まきの木大学の修了式

名称をまきの木教室から「まきの木大学」と改めて学習していたまきの木大学の閉講式が、3月9日、老人福祉センターで行なわれました。

六十歳以上の老人を対象として開かれていた同大学は、昨年の5月から毎月一回の大学コースと、趣味を生かしたハイキング、詩吟、舞踊、盆栽、生け花、フラワーデザイン、短歌の七つのクラブ制をひいて、「生きがいや人間づくりを自分たちで学び、進めて行こう」と学習してきました。

この締めくくりである閉講式には、百五十人の修了生と、中川町長や宮石教育長ら来賓が出席。修了生全員に修了証書が手渡され、このうち七十六人の皆出席者に皆勤賞と記念品が贈呈されました。

中川町長は「大学を無事修了できておめでとう、来年度も大学二年生として元気な姿を見せてください」と祝辞。これに対して級長の佐野安男さんは「まきの木大学のおかげで生活にはりが生まれ、楽しく教養を身につけることができました」と、一年間を振り返りながら謝辞を述べていました。

」と張切っていました。

家庭教育学級

ふよう教室も閉講

ふよう教室と家庭教育学級も3月6日、老人福祉センターで合同閉講式が行なわれました。

ふよう教室では詩吟、盆栽、生け花などのクラブ制をひいて、それぞれが希望するクラブで、すこしでも趣味と教養を高めようという期間勉強しました。

また、家庭教育学級では、現代に生きる我が子をどうしたら健全に育てて行けるか、をテーマに学びました。

今年、ふよう教室を修了した百十五人。家庭教育学級を修了した五十九人に対し、宮石教育長から修了証書が贈呈されました。

商業統計調査に

ご協力下さい

通商産業省では、五月一日現在で、全国約二百五十万の卸売、小売店、および飲食店をふくめて、いわゆる商業統計調査を実施します。この商業統計調査は、商店の国勢調査ともいべき調査で、わが国の商業の、販売活動の実態や

商品の全国的流通状態を明らかにすることを目的としたものです。調査の結果は、行政上の基礎資料、または商店経営の指標として広く活用されています。

四月二十日ごろから、商業統計

断酒会だより No. 3

家族ぐるみの

つきあいだ断酒

断酒会の例会では、お互いに体験を発表しあいます。家族、とくに奥さんの協力は大切なので、家族も一緒に例会に参加します。例会のない間にも会員はお互いに訪問したり、電話や通信などで励まし合います。

会員は、どうして過去の失敗の繰り返しから抜け出して、断酒し得たかの体験を語り、家族は家族の立場から、どのように断酒させたかの体験を話し合います。そして、今なお酒に悩んでいる人や、その家族の訴え、質問について各会員が話し合います。

また、断酒会是一种の集団精神療法です。こんな簡単なことで酒をやめ

調査員が調査票を配布します。で、五月一日現在で必要事項を記入していただきます。

提出された調査票は、統計法によって厳重に秘密が守られますので、正確な申告をお願いします。

固定資産税一期の納期は

5月末日に変更

地方税法の一部を改正する法律案が今国会に提出されており、ご承知のように、ロッキード事件で国会の審議がおくれています。

今回の改正は個人事業税、ガスの軽減。そして地方税負担の適正化と地方税源の充実などの見地から、住民税の均等割、および自動車税率の引き上げです。また、固定資産税の評価替え年度に伴う、負担調整率の決定などもあります。

したがって、同法案が国会で審議され公布されても、固定資産課税台帳の縦覧期間や課税事務に相当日数を要することになるので、例年4月に配布する納税通知書は5月になり、納税期日も5月になります。

交通相談日

五月十五日(土)

富士川町役場三階会議室
相談員 氏原綾夫

交通事故などで困りの方は、どんなことでもご相談ください。

土の採取等には

届出が必要

土地を掘きくしたり、盛土・埋土などをする場合には、届出を必要とする内容を「静岡県県土採取等規制条例」が四月一日から施行されました。

最近、建設工事に伴って土の採取や盛土・埋土が埋えています。このような土の採取には、特別に法令による規制がありません。そのため土を取った跡をそのままにしておいたり、大雨のときなど土砂の流出による災害が生ずるといった問題があいついで起き、土の採取などについて規制という声が高まってきました。

採取等の届出

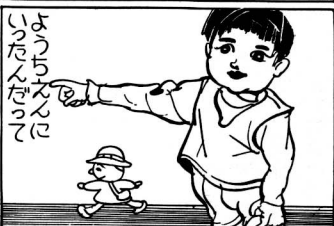
- ① 法令に基づいて許可や認可を受けたもの
- ② 面積が千平方メートル未満で
- ③ この届出書には、土の量や採取する期間、採取の方法、更に災害の防止方法、跡地の利用方法などを書くことになっています。しかし次のような場合には届けなくてもよいことになっています
- ④ その他、農業や林業に必要な

この条例では土の採取や盛土・埋土を行うときには、その工事に着手する三十日前までに、市町村を経由して県知事に届出ることになっています。

またすでにこのような工事をしている場合は、四月三十日までに届け出ることになっています。

この届出書には、土の量や採取する期間、採取の方法、更に災害の防止方法、跡地の利用方法などを書くことになっています。

しかし次のような場合には届けなくてもよいことになっています



通信員だより

若人に望むのは、とにかく腰を上げ積極的に仲間をつくることです。人生は美しく、すばらしいものであるはずですよ。
(岩淵 齊藤章通信員)

必ず春が訪れ、草木は芽を吹き花を咲かせ始めます

交通安全を願う

黄色い帽子を全園児に

園児を交通事故から守るため、黄色い帽子が町内の幼稚園、保育園を対象におくられました。

町はあとをたたない、おそろしい交通禍から、幼ない生命を守るために、町内の幼稚園、保育園の全園児七五〇名に黄色い帽子をおくり、交通安全を呼びかけました。

運転手の皆さんも、この黄色い帽子をかぶった可愛い幼児を見れば、必然的に安全運転に心がけるでしょう。

空巣シーズン
お出かけには
一声かけて
カギかけて



県の中小企業向 融資が変更

昭和五十一年度より、県では従来あった中小企業向融資制度をみなおし、中小企業者が以前より利用しやすいように、過去の実績や、各方面からの意見をきき、新しい融資制度をつくりました。

経営改善資金、経営安定資金等で利用されたい方は、商工会、又は役場産業公書課に詳細を問合せ下さい。

心配ごとは気軽に 総合相談所を ご利用ください

- 5月20日(木) 9時30分~15時
- 老人福祉センター

戸籍の窓

51・1・20〜2・19 (敬称略)

おめでた

区名 出生児 保護者続柄
 木島 佐藤 蘭子 富治 長女
 相生町 谷津倉和孝 純男 長男
 〃 齊藤 雅敏 国之 〃
 坂下 齊藤 明美 正憲 長女
 〃 唐橋 幸江 政夫 〃
 旭町 増田多美枝 時光 二女
 堺町 渡辺 幸子 安治 〃
 四十九 小澤伊津実 秀男 長女

戸籍の手数料が

五月一日から

改訂されます

現行の手数料は昭和四十八年七月一日に改訂されたものですが、戸籍の謄抄本等を作成するに要する経費が石油危機以来、急速に上昇し、全国連合戸籍事務協議会総会において、手数料の額を適正な額に改訂するよう国に要望され、五月一日から新料金となります。現在の戸籍謄本の手数料は一枚につき何円という枚数制ですが、今度の改訂では一通何円という通数制となります。

戸籍手数料改訂表

戸籍	公開の方法		現行手数料		改訂手数料	
	閲覧	謄抄	1戸籍	70円	1戸籍	100円
戸籍	閲覧	本本	1枚	70円	1通	200円
	謄抄	本本	1枚	70円	1通	200円
	記載事項証明		1件	70円	1件	100円
除籍	閲覧	本本	1戸籍	70円	1戸籍	200円
	謄抄	本本	1枚	70円	1通	300円
	記載事項証明		1枚	70円	1通	300円
			1件	70円	1件	200円

よろこび

宮町 佐野 元子 正夫 二女
 〃 浦田まり子 禎一 長女
 本通三 奥村 和子 友敏 〃
 本通四 田中 一広 祥元 長男
 〃 大木 秀仁 三山 〃
 幸町 荻野 剛士 隆三 〃
 東町二 三浦 憲大 照男 〃
 南町 佐野 智章 五明 二男
 富士見町望月 隆子 三郎 二女
 富士松野宮田 穂 俊彦 二男
 清水町 小池 美樹 一義 長女
 儘下町 朝比奈美香 敏行 〃
 区名 新 郎 新 婦 旧 姓
 相生町 太田 好彦 京子 伊藤
 宮町 本居 篤子 千葉県
 幸町 佐野 正子 富士市

おしあわせに

旭町 齊藤 正義 祐子 遠藤
 堺町 石橋 利弘 照子 杉浦
 四十九 池田 頼 清美小長谷
 宮町 堀 充司 みゆき中瀬
 本通一 和田 和夫 幸子 和田
 東町二 加藤 佳正 緑 福田
 南町 小林 英樹 裕子 渡辺
 〃 稲川 秀勝 悦子 清水
 〃 加藤 恭介 あつ子佐野
 八幡町 稲葉 勝己 博子 渡辺
 区名 氏名 転出先
 四十九 渡辺 訓子 蒲原町
 宮町 本居 篤子 千葉県
 幸町 佐野 正子 富士市

大事に育ててネ

中部電力 保育園などに植樹

中部電力富士川営業所は、3月2日、当町の四保育園や老人いこの家、吉津の児童遊園地にモモやモミジの苗木三十本を贈りました。

これは、緑化思想が高まっているおり、中部電力が進めている住民サービスの一環事業として、初めての「緑のプレゼント」を実施したものです。

当日は、同営業所の職員七人が手にスコップやバケツを持って訪問。園庭の一角に穴を掘り、肥料



を投入して、モモやモミジの二・三年生の苗木を手順よく植えました。植樹が終わったあと職員は、保護や園児に「大事に育ててネ」とお願いして帰りました。

かなしみ

南町 望月ゆみ子 由比町
 清水町 久保田和子 静岡市
 区名 氏名 年齢
 木島 佐藤丑太郎 七〇
 相生町 水上 留尾 七八
 舟山町 齊藤 はな 七〇
 旭町 齊藤 金三 七一
 小池 中川 兼松 七一
 本通三 佐藤 栄一 六五
 東町二 影山賢次郎 八〇
 富士見町小泉 麻雄 五一
 大北町 杉山 健治 六八

富士川短歌会

3月詠草 (天野寛 選)

四十九 辻 すみじ
 父逝きて五十回忌をいとなみぬ六人の子はみなすこやかにして
 本通一 田村 タカ
 老母の抜毛なるらし床下を掃けば
 箒に白髪からむ
 四十九 塩川 恒子
 ポスターをくまなく眺めてなお余る刻を過ごせし駅の待合室
 上町 植松 法子
 指先の土をたんねんに洗いおり午後より娘の参観日にて
 相生町 長谷川ゆり子
 水底に泥かむりいる水蓮の芽ぐむが見ゆる今日より三月
 小池 佐藤 ちよ
 春の雨枯芝ぬらす庭に立つ白きもくれん仰ぎてみつづ
 本通一 齊藤とし子
 腰いたため床に臥せし夫の今朝は起きる気配す口笛吹きて
 宮町 若月 幸江
 大会に発表の番近づけばトローチ一つふくみて待ちぬ
 坂下 植松 秀子
 移り来て友なき吾の休みどき芝にまろびて風の月見る
 旭町 吉田 令子
 終日を針持つ仕事か指先に厨の塩はいたくしみたり